

## マーケットの動き（2024年2月12日～2月16日）

先週の米国国債市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。1月米国CPI（消費者物価指数）の上振れを受け、FRB（米国連邦準備制度理事会）による早期利下げ観測が一段と後退したことを背景に米国長期金利は一時4.32%まで急上昇しました。その後、持ち高調整の買いや米国小売売上高の下振れにより長期金利は低下しましたが、16日発表の米国PPI（卸売物価指数）が市場予想を上回ると長期金利は上昇に転じて週を終えました。欧州国債市場は、おおむね米国に連動した推移となりました。

## 投資環境見通し（2024年2月）

## 長期金利は、米国、欧州（ドイツ）ともに小幅に上昇

**米国：**インフレの鈍化が進む中、長期金利は低下局面に入るとみえています。ただし、短期的には底堅い雇用市場や個人消費から早期の利下げ観測が後退するとみられ、長期金利は小幅に上昇するとみえています。

**欧州：**域内景気の停滞感が強い状況においても、賃金やサービス価格の上昇率は依然として高水準のため、ECB（欧州中央銀行）が景気重視姿勢に転換するには時間を要するとみられます。欧州（ドイツ）長期金利は小幅に上昇するとみえています。

|                                  | 2月16日  | 変動幅（騰落率） |       |       |        |
|----------------------------------|--------|----------|-------|-------|--------|
|                                  |        | 前週比      | 1カ月前比 | 6カ月前比 | 1年前比   |
| 10年国債利回り（米国、%）<br>（変動幅）          | 4.29   | 0.12     | 0.23  | 0.02  | 0.45   |
| FTSE世界国債インデックス<br>除く日本、円ベース(騰落率) | 576.72 | 0.35%    | 1.10% | 5.81% | 15.15% |

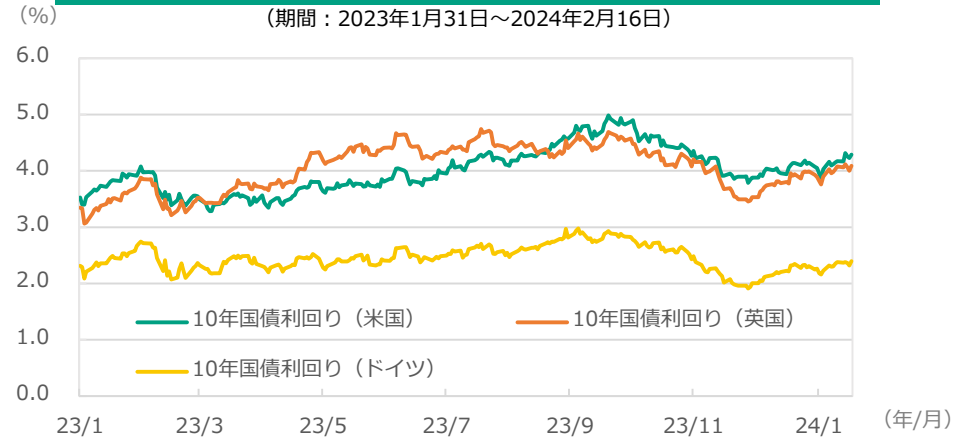
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202402\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202402_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

## 主要国国債利回りの推移



## FTSE世界国債インデックスの推移



※2023年1月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成